

校内研研修計画

甲州市立大和小学校

1 学校課題

大和地区は自然に恵まれており、周囲を山に囲まれた静かな地域である。地域の中央を高速道路が走り、幹線道路も交通量が増加し春や秋など観光客が多数訪れ、賑わいを見せる。大和町は武田家終焉の地としても知られており、多くの史跡が点在する古い歴史を持つ町である。

本校は、児童数が少ないため人間関係も固定されがちであり、多様な意見や価値観に触れる機会が少ない。決まったことや指示されたことに一生懸命に取り組むことはできるものの受け身になりがちで、自ら考え、主体的に取り組もうとする姿勢は十分だとは言えない。また、学校を離れ地域に帰ると、同年代がほとんどいない状態となる児童も多い。そのためか、人との関わり方や円滑なコミュニケーションがとれない児童も見られる。そこで、様々な機会を捉え、児童会の集会活動での縦割り活動や、複式学年の合同授業などの交流を通して、人間関係を築く能力や社会性を育み、異年齢集団の中で共に助け合うことができる環境作りを進めている。

2 研究主題

「学び合い高め合い意欲的に学ぶ児童の育成」

～ 地域を学び 地域に学び 地域と学ぶ 授業の創造を通して ～

3 主題設定の理由

本校では、昨年度、学習支援型のコミュニティ・スクールの確立を目指し、より実践的な取り組みを行った。実践を通して「単元構想表」の作成、「ボランティアリスト」の充実に取り組んだ。また、初めて「学習成果発表会」を行い、大きな成果をあげた。児童が地域の良さを伝えるという目的を持ち、相手意識を持ちながら活動に取り組むことができた。また、研究授業・一人一実践を通して、「自分の考えを持ち、記述する。そして意見交換を通じて考えを深める」授業改善に取り組んだ。研究授業・研究会では、学習支援ボランティアと連携した学び合いの授業づくりについて研究を深めることができた。一人一実践では、ホワイトボードやワークシート、書画カメラ等を効果的に活用し、児童の伝え合う活動の充実を図ることができた。

そこで今年度は、昨年度の研究を継続するとともに、地域学習単元開発の充実と授業の実践を中心に研究をすすめていく。自分の意見を相手にわかりやすく説明すること、話し合い活動の中で学び合う活動を基盤にしながら、地域学習を通して「学び合い高め合い意欲的に学ぶ児童の育成」につなげたい。

また、昨年度、Q-Uアンケートの実施と結果分析を全職員で行い、共通理解することで、学年を越えて個に対応した支援をすることができた。今年度もQ-Uの結果を活用し、お互いを認め合い意欲的に学び合える学級集団づくりにいかしていく。学習規律に関しては、アンケートを継続して実施したことで、児童のきまりに対する意識を高めることができた。児童評価も改善されてきているので、今後は項目の見直しを図り、さらなる定着を目指したい。

家庭と連携した学習環境づくりに関しては、自主学習チャレンジ週間を設け、担任以外の職員に見てもらうことで、児童の関心や意欲が高まった。また、帰りの会で生活ノートに自主学習の内容を書き、担任が確認する「大和小学習スタンバイ」にも取り組んだ。今後は学習スタンバイの時間を有効活用して、多くの児童が自主学習にしっかりと取り組めるようにしていきたい。

3 研究の具体的な内容と方法

【研究①】生活科・総合的な時間の学習を中心とした地域学習の単元構想計画・授業づくり

具体的な内容 と方法	ア 地域学習の単元構想計画の見直しと充実 イ 研究授業及び研究会 ウ 一人一実践授業
変容の見取り	授業観察, 学習ノート等の記録, 学習感想, 学習成果発表会

【研究②】意欲的に学ぶ学習集団づくり

具体的な内容 と方法	ア 大和小学習のきまりの定着 イ Q-U 調査の分析, 対策 (K-1 3法)
変容の見取り	児童観察, 「大和小学習のきまり」アンケート, Q-U の結果

【研究③】家庭と連携した学習環境づくり

具体的な内容 と方法	ア 大和小自主学習の取り組み イ 自学に関するアンケートの実施 (自主学習の回数・方法・内容など) ウ 大和小自主学習スタンバイの取り組み
変容の見取り	自主学習に関するアンケート, 児童の感想等

年間校内研修計画

研究主任 飯室 美華

研究テーマ	研修内容	教科	担当	学年	授業時期	T・C 要請
学び合い 高め合い 意欲的に学ぶ 児童の育成 ～地域を学び 地域を学び 地域と学ぶ 授業の創造を 通して～	今年度の研究計画		研究主任・部長		4月	
	部会の提案		部長		5月	
	K-1 3法		研究主任		5・6月	
	地域学習の単元構想計画の見直し		研究主任		5・6月	
	NRT 検査の分析		研究主任		7月	
	プログラミング学習について 保小の連携 (大和保育所の視察) 各部会研究		研究主任・部長		7月	○
	教育課程還流報告会・部会研究		各担当・部長		8月	
	全国学力・学習状況調査の分析		研究主任		9月	
	研究授業・研究会	未定	吉本賢司	4年	10月	○
	K-1 3法		研究主任		11月	
	一人一実践	未定	授業者	各学年	9～11月	
	研究のまとめ		研究主任・部長		12月	
	本年度の成果と課題		研究主任		1月	
	来年度の研究について		研究主任		2月	
	研究紀要作成		研究主任		3月	